

# みらいCAN

## ニュースレター

miraikan newsletter  
2001 December No.005



[今月のトピックス]人はなぜロボットを開発するのでしょうか？ なぜロボットを見るとワクワク/ゾクゾクするのでしょうか？  
未来館に不思議空間が誕生！



### Contents 2001 December No.5

- 01 展示紹介「ロボット・ミーム」展  
Contents
- 02 10月開催のイベント報告
- 04 スタッフ紹介
- 06 12・1月のイベント

「中秋の名月・未来館でお月見！」インターネット番組を生中継

## 第5号



# 10月開催のイベント報告

## 未来館特別企画 「中秋の名月・未来館でお月見！」 (10月1日(月)10:00~20:00)

10月1日は中秋の名月、暮らしの歳時記として親しまれてきたお月見ですが、ジオ・コスモスを月にして未来館らしいアプローチをしました。

今回は未来館スタッフ全員による初のイベントということで、たくさんの催し物が企画されました。毛利館長・寺園月博士・酒井インタープリターによるインターネット番組では、来館された方々だけではなく、来館できなかった方々にも楽しんで頂けるようホームページを通し生中継で番組をお届けしました。

シンボルゾーンでは、月にちなんだジャズが演奏されたほか月に関する展示や工作教室も行われサイエンスの視点を楽しく提供しました。



## フォーラム「未来にたくす夢~オ・ロラの美しさと秘密」 アラスカ大学国際北極圏研究センター所長 赤祖父俊一先生 (10月13日(土)15:00~16:30)

10月13日(土)第2回目となるフォーラム「未来にたくす夢~オーロラの美しさと秘密~」が日本科学未来館7階みらいCANホールで開催されました。今回は私たちに最も身近な宇宙現象であるオーロラについて、赤祖父俊一先生がレクチャーを行いました。赤祖父先生はオーロラについて半世紀に渡って研究を続けてこられた世界的な研究者です。スライドやビデオで美しいオーロラの映像を紹介しながら、その神秘と自然の仕組みについてお話しいただきました。その後、約250名の参加者の中からはさまざまな質問が寄せられ、赤祖父先生と会場とが一体となってこのフォーラムを創り上げることができました。



## 展示の前で研究者に会おう 宇宙開発事業団 菊山紀彦先生 - 宇宙の暮らしは面白い - (10月27日(土)14:00~15:00)

シリーズ5回目となる「展示の前で研究者に会おう!」10月27日(土)にはテーマとして初めて、宇宙の話題を取り上げました。お迎えした研究者は、宇宙開発事業団・招聘研究員の菊山紀彦先生。約35名の参加者が集い、「宇宙の暮らしは面白い」というタイトルどおり、地上とはまったく異なる宇宙での生活環境の中で宇宙飛行士がどんな暮らしをするのか 宇宙飛行士同志の散髪やトイレの処理などなど たいへん面白いお話を聞くことができました。終了後に参加者が列を作り、菊山先生に熱心な質問を投げかけるというシーンも、もうこの会ではおなじみの光景です。

特に今回は、先生と参加者に未来館スタッフ、それに取材に来ていた記者までが加わり、「宇宙での生活の実現性」について討論するというこの会ならではの一幕もあり、とても充実した時間となりました。



## すばる望遠鏡の研究者と話そう 国立天文台ハワイ観測所 布施哲治先生 (10月28日(日)10:30~11:00)

毎月1回、ハワイ観測所の研究者と結んでテレビ会議を実施してきていますが、今回は、布施哲治先生が来日された機会をとらえて、日本科学未来館に来ていただき、直接、来館者と話ができる場を設けました。5階展示ゾーンすばるシアター横で行われた講演には、30名ほどが参加し、熱心な質疑応答が行われました。



## 展示の前で研究者に会おう 東京大学 北澤宏一先生 - 超伝導の超能力 - (10月6日(土)14:00~15:00)

「展示の前で研究者に会おう!」のシリーズ第4回目が、10月6日(土)に行われました。今回展示の前に登場した研究者は、東京大学大学院領域創成科学研究科の北澤宏一先生。テーマは「超伝導の超能力」です。未来館7F会議室で行われた約30分の講義の後、一同は3F展示会場(「技術革新と未来」)に移動し、先生とインタープリターによる実演(磁気浮上の実験)を見守りました。

「超伝導をいかに日常生活に適応させていくかを、一般の方々にわかってほしい」という北澤先生の想いが33名参加者にも伝わったのか、皆鋭い眼差しで北澤先生の巧妙なお話に聞き入り、白熱した雰囲気なのが会が終わりました。終了後も多くの方々が列を作って北澤先生に様々な質問を投げかけており、参加者は超伝導に対する興味をおおいにそられた様子でした。



### 「インタープリターと話そう」が開催されています。

展示を解説しているインタープリターが自らの考えで、とっておきの科学や技術の話をご用意して、来館者のみなさんと交流する企画です。10月、11月に開催された「インタープリターと話そう」のテーマをご紹介します。この企画は、引き続き開催されます。

10/1 月 原 みゆき 環境ホルモンと生態系	29 月 橋本めぐみ 茅葺きから見る環境共生の生活
3 水 野田 哲 小さいもの見方	31 水 山科太加美 “がん”について
4 木 * * * * * 携帯電話の歴史と 第三世代携帯電話について	11/1 木 長坂 浩之 海洋探査船のすべて
5 金 須田 裕子 レンズ付きフィルムの循環生産	2 金 清水 斉志 さまざまな光
10 水 今岡由佳子 生活の中の微生物	5 月 高梨ちとせ 環境問題
11 木 酒井 夕子 月面基地 月に喫茶店をひらく日を夢みて	8 木 小山 彩子 雨の汚れを測ろう
12 金 吉田大一郎 化石の年代測定について	9 金 渡邊 学 素粒子ってなんだろう
15 月 高橋 順子 光と色の伝達	14 水 恩田雄一郎 生活習慣病
18 木 藤谷 哲 誰のためのデザイン(どこでも)	15 木 池勝 / 浜 電気関係/モノを作る ~NCI工作機の種類と用途~
19 金 矢崎 壘 イネの遺伝子解析と 遺伝子組み換え研究の現状	16 金 高野 博光 太陽光発電を地域で使ってみよう
22 月 高瀬 享子 目に見えないミクロのゴミは どうやって測るか?	19 月 林 裕子 ゲノムってなあに
24 水 工藤 英子 心臓の進化(系統発生)と発生	21 水 田中 知美 太陽電池ができるまで
26 金 古林 祐佳 日本のノーベル化学賞 - 導電性高分子と分子触媒 -	22 木 渡辺真由子 蒼龍を動かそう!
	26 月 松原 志緒 花のかたちを決める遺伝子
	28 水 筒井 三智 ストレス
	29 木 西田 砂織 未来館の免震構造を学ぶ



伊藤 礼(アテンダント) 写真右

オープンしてからすぐに私は国際交流館前の広場にススキのような植物があることに気づきました。丈が伸び、穂が増え、色が変わる様を、光を浴び風にゆらぎ雨に濡れる様を眺めながら帰路につく毎日です。その変化に触れて、日々変わっていく自然の姿にわくわくします。この未来館も変化し続けていると思います。人とのふれあいによって変化し成長していく未来館は私にとって大きな学びの場です。これからも未来館とともに成長していきたいと思っています。

能見敏美(アテンダント) 写真左

オープンから約5ヶ月が過ぎ、日々の業務にも慣れてきました。毎日たくさんのお客様と接する中で学び得ることも多く、お客様の楽しんでいる姿を見るのが何より支えになっています。これからも未来館でたくさんの笑顔に出会えるよう、お客様とのふれあいを大切にしていきたいです。その中で自分自身成長してゆけたらと思います。

未来館でみなさんとお会いできることを楽しみにしています。



重信和広(科学技術スペシャリスト・成果普及グループ)

11月より日本科学未来館の一員になりました。それまではただ未来館を訪れる立場で、皆さんと同じように館内で様々な企画・展示に参加していました。

ところで、シンボル展示のジオ・コスモスって何を想います? 僕は具体的には何も想いません。ただただ感動してしまいます。毛利館長が宇宙から青い地球を見たときの感動には及ばないかもしれませんが、そのときの感動を共有できるかのような感じです。

未来館のスタッフになった今、web ホームページを通じてこの感動を伝えられれば... というのが僕のテーマです。相手の見える、気持ちの伝わるweb作成にご期待ください!

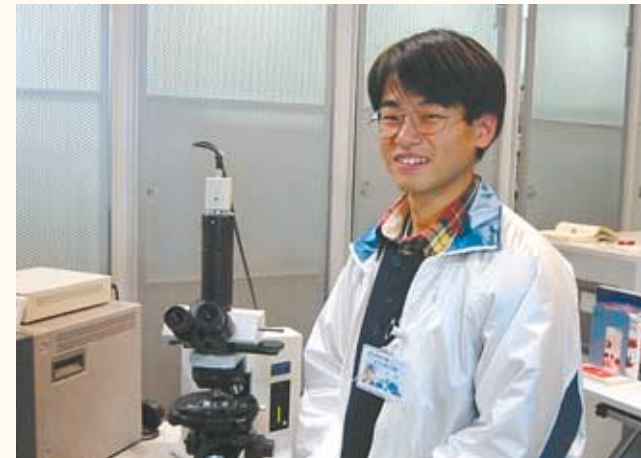


篠村善徳(ボランティア・「地球環境とフロンティア」担当)

「みらいCANの魅力 それは、「人」だと思います。みらいCANは、最先端の科学技術を紹介するレベルの高い科学館ですが「人」という点でも日本一を誇っているでしょう。「人」とは、つまり科学館の展示案内や実験をするボランティアやインタープリターです。みな、それぞれに得意の知識や技術を持ち、研究意欲も高い人ばかりです。こんなに多様な「人」がたくさん集まっている科学館は、日本のどの科学館・博物館を探してもないでしょう。

私は、オープン翌日から5Fの「地球環境とフロンティア」でボランティアをしています。正直言って、はじめは何を説明したらよいのかわかりませんでした。しかし、私は地学が好きなので、その分野の知識でお客様に楽しく伝えれば、岩石や微化石といった一見地味なものにも、大きな感動を与えられることに気づきました。フロンティア・ラボで、「ここにあるきれいな大理石は、実はこの小さな孔虫からできているんだよ!」という、子供も大人も目を丸くして驚きます。そして、硬い岩石になるまでの過程をより詳しく説明すれば、みな長い地球の営みに感動してくれます。

みらいCANには、科学を通して感動を与えるたくさんの「人」がいます。みなさん、みらいCANへ行ったら、多くのボランティアやインタープリターに声をかけてみてください。きっと、たくさんの驚きと感動に出会えるはずです。



西川利男(ボランティア・「情報科学技術と社会」担当)

「情報技術」(いまでは「IT」といった方が通りが良いかもしれませんが)

は日々進歩し、「未来を支える鍵」であることは言うまでもありません。けれども、「情報技術」が他の技術と大きく異なる点は科学だけではなく、社会、文化との関わりが大きく、よく言う文科と理科との両方にまたがる分野であるということです。これは言い換えれば人間の活動のすべてということにもなるでしょう。

私はもともとは国立の化学の研究所で、コンピュータ・プログラミングによる研究を行ってきました。ここで「情報技術」部門のボランティアをつとめていますが、最近ではコンピュータと文化、言語との問題にとても関心を持っています。ボランティア・ウィークでは「中国語、タイ語、エスペラント語、そして日本語とコンピュータ」という題で私の小さなトークを聞いていただきました。このコーナーでは、だれにでもわかる「インターネットのしくみ」から、コンピュータと「楽しいお絵描き」など、おもしろくて役に立つ展示がいっぱいあります。また、単なる展示にとどまらず、来館者の皆さんと私たちボランティアと若いインタープリターを含めた人と人のふれあいは、これまでの博物館や科学館にないものです。

「情報科学技術」とは「パソコンを使うこと」だけではないことをこのコーナーでの体験を通して知っていただきたいと思っています。



熊野泰大

(インタープリター・「生命の科学と人間」担当)

「遺伝子組換えで、自分の顔を咲かせられるの?」  
「クローン技術で、自分の頭を良くすることできないの?」

お客さまから、不思議な質問が次々と飛び出します。夢のようなお話でも、科学の物語を自分で想像する場になっているのだと思うとハッピーです。

そして、そんな物語が、私の脳みそを活性化させてくれます。

仕事から、よく思います。「ああ、今、海馬のニューロンが3本のびた」とか。

私の脳みそは最近とてもフレッシュになりました。



原みゆき

(インタープリター・「情報科学技術と社会」担当)

私は子供のころから数学や理科が苦手で、高校3年まで文系クラスに籍を置いていましたが、理科の実験だけは大好きで、得意に変えたいと考え理系学部に進みました。そういった経験から、苦手意識のある人に少しでも科学の楽しさを知ってほしいという思いがあります。

実験の時のわくわくした気持ちを思い出しながら、体験して理解することの楽しさを来館者の皆さんと共有して行きたいと考えています。





- 1「ロボット・ミーム」展～ロボットは文化の遺伝子を運ぶか?～  
12月1日(土)～2月11日(月・祝)
- 2 ROBO-ONE 第1回人型ロボット格闘競技会プレイベント  
12月1日(土)～9日(日) 本大会2月2日(土)～3日(日)
- 3 シンポジウム「ロボット・ミーム」  
12月1日(土) 18:30～20:30
- 4 公開講演会「ゲノムから見る生命のふしぎ」  
12月1日(土) 14:00～
- 5 ハイビジョン映像で流星を数えよう～空撮ハイビジョン初公開!  
12月1日(土)～2日(日) 14:00～15:00
- 6 クリスマス・インスタレーション「ユニバ・スウォッチ宇宙時計」  
12月1日(土)～24日(月・祝)
- 7 ボランティアウィーク 12月3日(月)～9日(日)
- 8 インタ・プリタ-と話そう  
12月3日(月)～21日(金) 平日14:00～14:30
- 9 日本科学未来館・国立天文台ハワイ観測所TV会議  
「すばる望遠鏡の研究者と話そう」  
12月8日(土) 13:00～14:00
- 10 宇宙へ夢を抱いたモノ作り「世界初のプラネタリウムの話」  
12月8日(土) 1回目 14:30～14:50(2回目) 15:30～15:50
- 11 パル-ン型ロボット「バボット」展示  
12月8日(土)～1月14日(月・祝)
- 12 サイエンスチャンネル「科学者はヒ・ロ-だ」公開録画  
12月9日(日) 14:00～16:30
- 13「クリスマス・コンサ-ト」  
12月14日(金) 12月22日(土) から24日(月・祝)
- 14「ロボット・ミーム」展連続トークセッション  
セッション1「ロボットデザイン-身体化するインターフェイス」  
12月15日(土) 17:00～19:00
- 15 科学ライブショ-「ユニバ-ス」  
12月24日(月・祝) 14:00～15:30
- 16「ロボット・ミーム」展連続ト-クセッション  
セッション2「ロボットはミ-ムの乗り物になるか?」  
1月12日(土) 17:00～19:00
- 17 ASIMO入社式  
1月13日(日) 11:00～12:00
- 18 シンポジウム「さわれる地球」  
1月13日(日) 14:00～16:00
- 19 レスキュ-ロボットシンポジウム2002  
1月18日(金) 11:00～
- 20「すばる望遠鏡の研究者と話そう」  
布施哲治先生、林左絵子先生  
1月26日(土) 13:00～14:00
- 21「未来にたくす夢-ある解剖学者の見た世界」  
養老孟司先生  
1月26日(土) 15:00～16:30
- 22「ロボット・ミーム」展連続ト-クセッション  
セッション3「ロボットは人の未来を映す鏡」  
1月26日(土) 17:00～19:00

12月		実験工房		
1 Sat.	インターネット電子顕微鏡 1 ロボット・ミーム展(～2/11) [本大会2002.2.2・3] 2 ROBO-ONE 人型ロボット格闘競技会プレイベント(～12/9) 3 シンポジウム「ロボット・ミーム」 4 公開講演会「ゲノムから見る生命のふしぎ」 5 ハイビジョン映像で流星を数えよう(～12/2) 6 クリスマス・インスタレーション「ユニバ・スウォッチ宇宙時計」(～12/24)	2	1	超 B
2 Sun.	インターネット電子顕微鏡			超
3 Mon.	7 ボランティアウィーク(～12/9) 8 インタ-プリタ-と話そう(～12/21)			
4 Tue.	休館日			
5 Wed.				
6 Thu.				
7 Fri.				レ
8 Sat.	インターネット電子顕微鏡 9 未来館・国立天文台ハワイ観測所TV会議 10 宇宙へ夢を抱いたモノ作り 11 パル-ン型ロボット「バボット」展示(～1/14)			超 B
9 Sun.	インターネット電子顕微鏡 12 サイエンスチャンネル「科学者はヒ-ロ-だ」公開録画			超 A
10 Mon.				
11 Tue.	休館日			
12 Wed.				超
13 Thu.				超
14 Fri.	13 クリスマス・コンサ-ト			レ
15 Sat.	14 トークセッション1「ロボットデザイン-身体化するインターフェイス」 インターネット電子顕微鏡			超 A
16 Sun.	インターネット電子顕微鏡			超 B
17 Mon.				
18 Tue.	休館日			
19 Wed.				超
20 Thu.				超 B
21 Fri.				レ B
22 Sat.	インターネット電子顕微鏡 クリスマス・コンサ-ト			超 A
23 Sun.	インターネット電子顕微鏡 クリスマス・コンサ-ト			超 A
24 Mon.	15 科学ライブショ-「ユニバ-ス」 クリスマス・コンサ-ト			レ B
25 Tue.	休館日			
26 Wed.				超 B
27 Thu.				超 B
28 Fri.	休館日			
29 Sat.	休館日			
30 Sun.	休館日			
31 Mon.	休館日			

実験工房 超:超伝導 雷:レーザー A:ロボットA B:ロボットB

1月		実験工房		
1 Tue.	休館日			
2 Wed.				レ B
3 Thu.				レ B
4 Fri.				
5 Sat.	インターネット電子顕微鏡			超 B
6 Sun.	インターネット電子顕微鏡			超 B
7 Mon.				
8 Tue.	休館日			
9 Wed.				
10 Thu.				
11 Fri.				
12 Sat.	インターネット電子顕微鏡 16 ロボット・ミーム展 連続トークセッション2			超 B
13 Sun.	インターネット電子顕微鏡 17 ASIMO入社式 18 シンポジウム「さわれる地球」			超 B
14 Mon.				
15 Tue.	休館日			
16 Wed.				
17 Thu.				
18 Fri.	19 レスキュ-ロボットシンポジウム2002			
19 Sat.	インターネット電子顕微鏡			超 B
20 Sun.	インターネット電子顕微鏡			超 B
21 Mon.				
22 Tue.	休館日			
23 Wed.				
24 Thu.				
25 Fri.				
26 Sat.	インターネット電子顕微鏡 20 すばる望遠鏡の研究者と話そう 21 「未来にたくす夢-ある解剖学者の見た世界」 22 ロボット・ミーム展 連続トークセッション3			超 B
27 Sun.	インターネット電子顕微鏡			超 B
28 Mon.				
29 Tue.	休館日			
30 Wed.				
31 Thu.				

イベントの内容は変更することがあります。

実験工房 超:超伝導 雷:レーザー B:ロボット

新年は1月2日(水)より開館

年末年始休館日=2001年12月28日(金)～2002年1月1日(火)

みらいCANニュースレター

第5号 2001年12月発行

発行人/毛利 衛

発行/科学技術振興事業団 日本科学未来館  
〒135-0064 東京都江東区青海2丁目41番地  
TEL:03-3570-9151 FAX:03-3570-9150

企画編集/日本科学未来館広報グループ  
編集デザイン/有限会社WORDS

ホームページURL <http://www.miraikan.jst.go.jp/>